

活動報告

■活動日：2024年8月18日（日）9：30～15：00

■プログラム名：勉強会と保護育成植物の名札更新

■目的：森林について理解を深め、会で策定した2024～2028年五カ年計画について専門家のアドバイスを学ぶ

■活動場所：自然観察センターレクチャールーム・カブトムシの森

■参加者：11名

■活動内容

残暑厳しい中、講師にお越しいただき午前中は講義と現地観察を行い、とても有意義な学びの時間になりました。午後は一年ぶりの植物名札更新作業を行いました。

<午前の活動> 勉強会 9:30～12:00

「福岡県の里山の現状と今後の展望」

講師：福岡県保健環境研究所 環境科学部

環境生物課 須田隆一氏

▶講義の内容

1. 里山とは
2. 福岡県の二次林
3. 里山の過去と現在
4. 里山の整備目標と計画

▶現地観察 カブトムシの森

林床植生の管理、クヌギコナラ以外で残す木の選択等それぞれの場所について質疑応答

▶振り返り

- ・最新の里山保全についての会員の知識を平準化する一助、歩み始めた五カ年計画の作業を改めて考える機会になった
- ・里山について専門的な話を聞くことができた
- ・里山についていろいろな定義や考え方があることを知った
- ・改めて森づくりの難しさを感じた



<午後の活動> 保護育成植物の名札更新 13：00～15：00

▶作業場所：カブトムシの森 A 地区の国有林沿いと周回路沿い

▶作業内容：2022年8月に名札をつけた保護育成植物の存在を確認し、名札の字を上からなぞり、麻ひもをかけかえた。杭がないもの、名札がないものは、設置しなおした。

▶振り返り

- ・作業未完のところがあり、役割分担、体力などに応じて調整が必要だった、今後のため、手順書を作成することになった
- ・名札更新時、植物について葉っぱだけで特定するのは難しい、勉強会が行われたこともあって森づくりは様々な知識と経験が必要であると改めて考える機会となった



須田氏 講義中



植物名札更新



カブトムシの森視察



集合写真